



スタートを合図にグングンとペダルを漕ぎ出す選手

話題

ピックアップ

まちのニュース

皆さんからの情報をお寄せください。
企画財政課広報広聴係 ☎・内線1202

坂の上の雲へ駆け上がる

2年ぶりの八幡平ヒルクライムに健脚が集う

八幡平アスピーテラインを自転車で駆け上がる八幡平ヒルクライムは8月28日に行われ、開催を心待ちにしていたクライマー301人がゴールを目指しました。

開会式では実行委員長の佐々木孝弘市長が「安全第一で頑張ってください」とあいさつ。号砲を合図に飛び出した参加者は、待ち構える登り坂に挑みました。

ジュニア(ショートコース)の部で3連覇した上村悠瑛さん(宮城県)は「八幡平は登るのが楽しい。来年は上のクラスで出場したい」と意気込んでいました。



最後の力を振り絞り、ゴールに飛び込む選手



出荷基準を満たしているか選別作業に取り組む児童たち

日本一の特産品に触れる

田山小・安代小合同でリンドウ栽培を学ぶ

田山小・安代小合同の総合的な学習「われら りんどう探検隊」は8月24日、地元農家の協力の下行われ、児童17人がリンドウ栽培への理解を深めました。

児童たちはリンドウ栽培農家の齊藤正樹さんらの指導を受けながら、収穫・選別・出荷の一連の作業を体験しました。

安代小の立花咲花さんは「家でもリンドウを栽培しているが、機械などを使った作業はしたことがなかったので新鮮でした」と笑みを浮かべました。



「命の価値」と題し発表した伊藤華穂さん(西根一中3年)が最優秀賞(8月25日、私の主張北岩手地区大会)



スマートインターチェンジの整備のため、第1回の地区協議会を開催(8月23日、市役所多目的ホール棟)



石川啄木が詠んだ花の作品と花の写真を展示。案内人は山本玲子さん(10月31日(月)まで、フォレストアイ)



森林インストラクターの説明に興味深そうにうなづく生徒

森林の役割や林業を学ぶ

安代中がふれあいの森で森林学習会を行う

安代中の1・2年生の生徒36人は9月8日、森林の果たす役割や大切さを学ぼうと、3年ぶりに森林学習会を行いました。

始めに体育館で、地域の経済を支えた林業や木炭の歴史などを学んだ後、同校の学校林である「ふれあいの森」で森林の観察や体験をしました。

八幡瑞希さん(2年)は「林業で働く人は、身近にある森林の何気ない変化に気づいて仕事をしていることが分かった」と林業に興味を持った様子でした。



伸ばし棒を使い、ピザ生地を成形する児童たち

食に関する知識などを育む

親子でのピザづくり体験を通じて食育を考える

寺田保育所は8月22日、食への関心や作ってくれた人への感謝の気持ちを育むことを目的に、食育体験会を開催。保護者の山本健一郎さんの畑で苗植えから一緒に育てた野菜を使い、ピザづくりを体験しました。

年長児4人と保護者5人が参加。イタリアン×和食Luceの遠藤裕紀さん協力の下、生地成形やトッピングをした後、ピザ窯で焼き上げました。参加者は「子どもと一緒に料理ができてよかった」、「おいしいピザができてうれしかった」と笑みを浮かべました。

短期集中で情報技術を習得

IT起業家を育成するスパルタキャンプが開講

第24・25期スパルタキャンプの開講式が9月3日、市起業家支援センターで行われ、市のIT起業家育成支援の取り組みが本年度もスタートしました。

式では、受講者それぞれが決意を表明し、早速講義を開始。神奈川県から参加の相川元澄さん(24)は「プログラミングの経験はゼロだが、キャンプで学んだ技術を自分の武器にしていきたい」と決意を胸にしていました。受講者は11月下旬までの約3カ月間、当市でIT技術や起業のためのノウハウを学びます。



分からない点はすぐに質問し、サポートを受ける受講者

天然記念物に指定され50年

節目の年にモリアオガエルの写真展を開催

ザ・ブロードフォート(三浦学代表)は8月21、22の両日、市のモリアオガエルの魅力を知ってもらおうと写真展「森青蛙の世界・プロローグ」を開きました。

大揚沼のモリアオガエルおよびその繁殖地は国から天然記念物に指定され、節目の50年。国の天然記念物になっているのは、大揚沼と福島県の平伏沼の2カ所のみで、貴重な繁殖地となっています。三浦代表は「多くの人にモリアオガエルの存在を知ってもらい、循環する自然を考えるきっかけにしてほしい」と力を込めました。



モリアオガエルの美しい写真の数々に釘付けになる来場者



子育て環境の現状や方向性などを意見交換する会員

教育や子育ての意見を交換

市PTA連絡協議会と市長とのフリートーク

市PTA連絡協議会(成田信也会長)は8月31日、「八幡平市の子育て環境について」をテーマに、同会と市長との懇話会を開きました。

懇話会には市内小中学校と平館高校のPTA会長など24人が参加。教育環境や子どもたちが遊べる環境などについての意見交換のほか、オンラインによる保護者同士の会議の開催事例など、参加者は相互に理解を深めるとともに、今後の市の教育環境の向上に期待を寄せました。



コーンの運搬作業をする滝川和絆さん(左)と岩崎さん

職業の選択肢を考える

西根一中の生徒が職場体験学習を実施

西根一中の2年生34人が9月7、8の両日、働くことの意義や価値を学ぶ目的で、市内外15カ所で職場体験学習を行い、仕事への理解を深めました。

(一社)市体育協会では、生徒2名がフィールドXに向け、コースのゴミなどを飛ばす作業を体験。暑い中の重労働で苦労しながらも、一生懸命に取り組みました。岩崎想矢さんは、「想像以上に大変な事が多かった。普段自分たちが総合運動公園を使えることにありがたみを感じた」と笑顔で汗を拭きました。

すなっぷギャラリー



市教育振興運動推進協議会が田頭コミセンと共催で行った漢字検定に48人が受検(9月3日、田頭コミセン)



ドローンで2.2㏊の大豆畑に農薬散布。10月下旬の収穫に向け準備着々(8月21日、野駄、立柳慎光さんの畑)



交通安全を意識した交通安全ゲートボール大会に7チーム約40人が参加(9月15日、アリーナまつお)



市民栄誉賞受賞者の小林陵侑さんと永井秀昭さん(写真右)に安比塗の櫓を贈呈(8月29、31日、自宅)



職場体験の記事を作成した角館優花さん「文章を作るのが大変だった」と振り返りました(9月7、8日、市役所)